

令和5年度

「運営に関する計画」  
中間評価

大阪市立大宮西小学校

令和5年11月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

令和4年3月改定の市中期目標達成に向けた昨年度の目標は、概ね達成と総括した。中期目標達成に向けての取り組みは進んでいる。しかし、個別の項目では部分的に達成水準以下のものもあるため、今年度にも改善をめざす。

「安全・安心な教育の推進」ではアンケート結果が経年調査時に低下することと、個人の意識と行動状態にずれが生じていることが課題である。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」では各種学力調査の結果からは、本校児童全体の学力は徐々に伸長して全国・本市平均との差は縮小し、目標を達成した部分もいくつもあるものの、基礎学力が定着せずに低学力に留まっている層との二極化が大きな課題であると捉えている。その要因は、コロナ禍の影響、家庭学習の状況等、多岐にわたりがつ根深く、継続して改善策を講ずる必要がある。

「学びを支える教育環境の充実」では、3年以上に及ぶコロナ禍の影響が漸く小さくなってきたことで、教育活動の幅を広げる条件が整いつつある。ICT機器の効果的な活用を一層推進する。また、働き方改革については、新しく配置されたワークライフバランス支援員の協力も得て、一部にあるアンバランスな勤務実態の是正に努める。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和7年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を1%以下とする。
- ・令和7年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を60%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- ・令和7年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合をどの学年も35%以上、平均40%以上にする。
- ・令和7年度小学校学力経年調査における国語および算数の標準化得点を、100以上とする。
- ・令和7年度小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合をどの学年も80%以上、平均85%以上にする。
- ・令和7年度小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- ・令和7年度小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いた

スライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 3 年 40%以上、4 年 60%以上、5 年 80%以上、6 年 100%とする。  
・令和 7 年度までに「ゆとりの日」を週に 1 回設定・実施し、順守する。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 87%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度(1.1%)より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童(2人)の改善の割合(前年度は該当児童なし)を増加させる。

#### 学校園の年度目標

- ・年度末の児童アンケート「学級や学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定回答の割合を 93%以上にする。
- ・年度末の児童アンケート「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定回答の割合を 88%以上とする。
- ・年度末の児童アンケート「学校へ行くのが楽しい」の項目についての肯定回答の割合と、保護者向けの対応項目でどちらも 95%以上とする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上とする。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 79%以上とする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 74%以上にする。

#### 学校園の年度目標

- ・小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度(今年度 4 年 18.4%、5 年 19.0%、6 年 17.1%)より 1 ポイント減少させる。
- ・小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」に対して、否定的回答をする児童の割合を 45%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

全市共通目標（小・中学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 3 年 40%以上、4 年 60%以上、5 年 75%以上、6 年 95%とする。

3 本年度の自己評価結果の総括



(様式2)

大阪市立大宮西小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。</li> <li>・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の児童アンケート「学級や学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定回答の割合を93%以上にする。</li> <li>・年度末の児童アンケート「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定回答の割合を88%以上とする。</li> <li>・年度末の児童アンケート「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定回答の割合と、保護者向けの対応項目でどちらも95%以上とする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】【基本的な方向2 豊かな心の育成】【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>新型コロナウイルスの状況を見極めながら、栽培・観察活動やゲストティーチャーによる授業等の校内体験学習、大阪の特色ある施設利用等による校外体験学習等を充実させ、主体的に学び続ける充実感を持たせる。また、キャリアパスポート等でこれらの取組を記録し、将来的に活用できる素地を構築する。</p> <p>指標</p> <p>①年度末の児童アンケート「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定回答の割合と、保護者向けの対応項目でどちらも95%以上とする。</p> <p>②キャリアパスポートに全学年とも年間に5枚ずつ記録を残す。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>教科で友達の意見を認め合ったり、学級活動で友だちの良さを認め気持ちを伝え合う学習を毎学期行ったりするなど、さまざまな教育活動を通して各自が達成感を味わい、自尊感情・自己肯定感が高まるように指導する。</p> <p>指標</p> <p>年度末の児童アンケート「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、肯定回答の割合を88%以上とする。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>教科書教材による道徳授業を一層深めていくとともに、児童の実態を把握し、</p>	B

<p>「みんなが決まりや規則を守ることで、みんなが安心して学べる楽しい学校となる」ことが実感できる集団育成を行う。</p>	
<p>指標 年度末の児童アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定回答の割合を93%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】 挨拶や丁寧な言葉遣いができ、望ましい規範意識・礼儀を身に付ける意識を持つようにその意義や効用を理解させるとともに、教職員自身も積極的に実践して、日常の教育活動を進める。</p>	B
<p>指標 年度末の児童アンケート「自分から進んであいさつをしている」の肯定回答の割合を89.0%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】 上記取組内容①～④についての情報共有や、児童に関する各校内委員会の月1回以上実施等によって、教職員の共通理解促進に努め、児童への適切な支援、保護者対応、関係諸機関との連携を一層強めることで、個に応じた支援、いじめ・不登校対応の一層の充実を図る。</p>	
<p>指標 ①小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。 ②年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度(1.1%)より減少させる。 ③年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p>	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容① ・地域の特色を生かした校外学習の計画を年度初めに立て、必要な時期に校外に学習に行くことができ、より充実した学習につなげている。 ・キャリアパスポートは現在各学年3、4枚書きあがっており、年度末に五枚書きあがる予定。</p> <p>取組内容② ・児童の実態や学級集団の様子に応じて、各学級で自己肯定感が高まるような様々な取り組みを実践している。その結果、児童アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の項目において肯定的回答の割合が88%を超えており、一定の成果が見られる。</p> <p>取組内容③ ・「きまりを守る」「進んであいさつ」については月目標のみでなく、教室でも日常から指導をしている。その結果、児童アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定回答の割合が93%を超えており、一定の成果は出ているが、守れない児童も多く見られる。</p> <p>取組内容④ ・あいさつについては継続的に指導を行っているが、進んで挨拶できる児童とそうでない児童の差が大きい。 ・教職員自身も看護当番のあいさつや校内での様々な活動を通して児童に積極的にあいさつや言葉がけを行っている。</p>	

・言葉遣いについても指導をしているが、相手の中傷する言葉や暴言による喧嘩、トラブルもまだ見られる。

取組内容⑤

- ・毎月生活指導部会を開いて児童の情報共有を行うことで、児童への支援を図っている。
- ・不登校児童については日々アプローチを行っているがまだ改善には至っていない。

次年度への改善点

## 大阪市立大宮西小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.3ポイント向上させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を74%以上にする。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度(今年度4年15.4%、5年19.0%、6年17.1%)より1ポイント減少させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」に対して、否定的回答をする児童の割合を45%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、だれ一人取り残さない学力の向上】</p> <p>基礎的な学力の土台となる認知機能を養うICTアプリを通年の帯学習(漢字・計算・読解・視写等)に加えて計画的に実施することを通して、自主学習習慣の確立の手立てや基礎的な学力の定着を図る。また、これまでの漢字検定を生かした漢字学習を工夫し、学ぶ意欲の向上につなげる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>①小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団で経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.3ポイント向上させる。</p> <p>②小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。</p>	B

<p>取組内容②【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】 「考える力」「伝え合う力」を育み、主体的に書くことへとつなげる教育活動を国・算・理・社・外国語の各教科で行い、全教員が研究授業を実施する。</p>	
<p>指標 ①小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。 ②年度末の児童アンケート「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いませんか」に対して、否定的回答をする児童の割合を 45%以上にする。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】 学校司書との連携や蔵書等管理パソコンの活用等で学校図書館の利用を充実させるとともに、学級での図書指導、読書週間、区図書館の集団貸出し制度を効果的に活用し、読書意欲を高める。</p>	
<p>指標 ①読書カードを活用し、読書量を高学年 20 冊、低学年 30 冊以上とする。 ②年度末の児童アンケート「本を読むことは楽しい」の肯定回答の割合を低学年で 80%以上、高学年で 70%以上にする。</p>	B
<p>取組内容④【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】 新たに配置された理科専科教員を中心に、実験・観察など体験的学習とグループ学習などによる考察を数多く取り入れた理科授業を構築し、児童の理科学習意欲を向上させる。</p>	
<p>指標 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】 通年での英語モジュール学習の実施や、小中兼務英語科教員・C-Net 講師の指導技術等を全教員が吸収することで、幅広い英語学習・英語活動に役立て、児童の英語学習意欲を向上させる。</p>	B
<p>指標 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 79%以上にする。</p>	B
<p>取組内容⑥【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】 各学年で家庭学習材の継続的な提供と提出状況の把握を通して家庭学習の習慣化を図ったり、放課後学習会への参加を継続的に促したりすることで自主学習を促進するとともに、自分なりの作品や学習成果をクラス等で発表や交流ができる場を設けていく。</p>	
<p>指標 ①家庭学習の定着を図るために必要な家庭学習材を提供し、提出率を 95%以上にする。 ②自主学習習慣が定着していない児童の家庭と連携し、放課後学習会への参加を継続的に促していく。 ③自分なりの作品や学習成果を発表や交流できる機会を工夫し、年間で 1 人当たり 2 回以上、うち 1 回以上は「書くこと」と関連づいた機会を持てるようにす</p>	

<p>る。</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向 5 健やかな体の育成】      体育科校内実技研修会の開催などを通し、教員全体の体育指導力を向上させるとともに、全校児童の体力・運動能力の状況を把握し、適切な運動の機会を設定してコロナ以前の運動量に回復させていく。</p>	
<p>指標      ①体育実技研修会を年2回、計画的に実施する。      ②小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を74%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑧【基本的な方向 5 健やかな体の育成】      保健学習、保健指導を計画的に実施し、健康な生活を送る力を養う。</p>	
<p>指標      保健指導アンケートで「低学年は午後9時、高学年は午後10時までに寝るようにしている」の肯定的回答を1学期と比較して3学期には5ポイント向上させる。</p>	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】      ・朝学や教科指導の中で、ICT アプリでナビマや Kahoot!やコグトレを活用している。また、Excel、パワーポイントなどの使用方法を児童の興味関心に合わせて指導しているが、ICT 機器の使用法に課題があり、修理期間が長く代替機がこないため現在取り組みは止まっているという現状もある。      ・低学年においても、ICT 機器を積極的に活用しており、コグトレに取り組んでいる。      ・漢字学習については、漢字が苦手という意識を変え、自信をもってほしいと考えている。練習後すぐにテストをすることで、満点をとれることが多く、自信につながっていると考える。      ・カタカナの学習では、学習したカタカナを使ってことばを見つけることを楽しんでいた。漢字の学習でも、教科書や教室の中から一生懸命探している姿が見られる。漢字に興味をもって積極的に学習に取り組んでいる。</p> <p>取組内容②【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】      ・言葉を集めて、シートに書くなど、児童の発達段階に合わせた書く活動をした。      ・児童は学習に対して肯定的な意見が多い。半面、話し合い活動に難しさを感じる児童が多いため、授業での話し合い活動の取り組みが喫緊の課題であるといえる。</p> <p>取組内容③【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】      ・本は朝学習や、隙間時間でも進んで読書に取り組む様子が見られる。      ・区図書館の貸し出し等で、学習に必要な本を手に取りやすい環境になっている。</p> <p>取組内容④【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】      ・実験・観察を中心に理科の授業づくりをしている。実験・観察の結果から、考察を行い、グループで交流を行っている。考察を書いた場合は毎回ノートチェックを行い、即時評価・指導・励ますことで、児童らの意欲の向上を図っている。</p> <p>取組内容⑤【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】      ・毎日の英語モジュール学習の10分間を子どもたちはとても楽しみにしている。      ・モジュールの時間や C-Net 講師との学習を通して、外国語の学習を意欲的にできてい</p>	

る。

**取組内容⑥【基本的な方向 4、だれ一人取り残さない学力の向上】**

- ・家庭学習材を提供し、家庭学習の定着を図っている。家庭学習が定着していない児童には、適宜家庭に協力を仰ぎ、提出率の向上に努めている。
- ・放課後学習会の本来の目的は、自主学習に取り組む力の育成であるが、参加人数も多く、日々の学習のフォローアップに手いっぱいになっている現状がある。

**取組内容⑦【基本的な方向 5 健やかな体の育成】**

- ・夏季休業中に一度体育研修に取り組み、3学期にもう一度行う予定である。

**取組内容⑧【基本的な方向 5 健やかな体の育成】**

- ・生活習慣について児童に指導したり、保護者に働きかけたりしているが、今のところ効果はみられていない。1学期の就寝時刻のアンケート結果において、9時までに寝ている低学年児童は全体の6%、10時までに寝ている高学年児童は全体の31%であった。
- ・健康な生活は過ごせていないと感じる。6年生の現状は、夜中12時でも起きている児童が何人もいる。携帯やゲーム、歌を聴くなど理由は様々である。親はあまり注意しないようである。
- ・発育測定時の保健指導や保健週間において早寝早起きの大切さや重要性を伝えている。理解から実践に移せるかどうかは課題である。

次年度への改善点

## 大阪市立大宮西小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>全市共通目標(小学校)</b></p> <p><b>【ICTの活用に関する目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3年40%以上、4年60%以上、5年75%以上、6年95%とする。</li> </ul> <p><b>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、順守する。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>ICT機器や一人一台端末を日常的に学習活動で活用するとともに、毎日の「心の天気」の活用や「相談機能」の積極的活用、教員も毎日PCを確認することなどの実践を通じて、すべての児童がコンピュータ等の活用スキルや情報リテラシーを向上させる。</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「コンピュータを使って写真や図を用いたスライドを作ることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を3年40%以上、4年60%以上、5年75%以上、6年95%とする。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>会議・行事の精選やICTの活用を進めるとともに、ワークライフバランス支援員への協力依頼を計画的に行うことで、偏った長時間勤務の防止に努める。</p> <p>指標</p> <p>「ゆとりの日」を週に1回設定・実施し、順守する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間や教科の調べ学習の時間を使って、タイピングやプログラミングソフトを活用している。</li> <li>・パワーポイントで都道府県を紹介するスライドショーを作って発表しあうなど児童がコンピューターに触れる機会を設定した。</li> <li>・朝学習や総合の時間、調べものがあるときや特定の休み時間にもタブレット端末を使用している。</li> <li>・総合的な学習の時間や教科の調べ学習の時間を使って、タイピングやパワーポイントを活用し、スキルの習得を図っている。</li> <li>・全員1年間の思い出を各自パワーポイントで作成し卒業前に発表できるようにしている。</li> <li>・ICT機器が整備され気軽に学習の中に組み入れることができている。</li> <li>・単元の終わりに学習内容をまとめたスライドを作成する時間を設けている。</li> </ul>

- ・一人一台端末について、児童が使用しやすい環境が整えられており、日常的に活用できている。
- ・児童は、ほぼ毎日タブレットを活用している。
- ・朝の用意や下校時に心の天気を行う時間的なゆとりがないように感じられる。どの時間帯に取り入れるかを学校で考えないといけない。

取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

- ・ワークライフバランス支援員さんのおかげで教材の印刷、電話・来客対応など、等の負担が軽減されている。ゆとりをもって業務を進めることができている。
- ・偏った勤務時間の防止のために、ゆとりの日の周知の工夫や施錠など、自身で工夫できるところを是正した。
- ・先生方のご協力があり、時短勤務で残業することなく、働かせて頂いています。
- ・ゆとりの日は極力早く帰っている。
- ・特に企画の案件にはあまり活用されていない。

次年度への改善点

--